

一般紙が次世代トヨタ・クラウン・コンフォートを紹介



LPガスを燃料とした次世代トヨタ・クラウン・コンフォートが自動車ショーに展示された

最近、朝日新聞(1月22日)、日本経済新聞(2月4日)等でLPガスを燃料とした次世代トヨタ・クラウン・コンフォートが取り上げられている。

LPガスを燃料としたタクシーで2020年開催の東京オリンピックに来日する外国人をオモテナシする計画。環境にやさしく高性能な自動車を身近に感じてもらう好機である。

技術大国を世界にアピール出来ることは自動車メーカーの真骨頂でもある。

最先端エコカーとしてデビューすることが待ち遠しい。

販売は2017年を計画している。

現在のセダン型は2018年初旬をもって販売が終了されるという。

新型コンフォートの概要(推測)；

走行性能⇒ 燃費性能、環境性能は格段に高くなる。

車体⇒ 1.5ℓ LPガスエンジンと電気モーターのハイブリットシステム

装備⇒ UD仕様、パノラマウィンドー、高張力鋼を使用した軽量車体

マルチメディア⇒ 乗車時ワクワクするようなディスプレイ(外国語対応のガイド等)

LPガスの使用量⇒ 現行車の1/2～1/3程度になる

LPガス容器再検査など諸外国の規制と調和し、コストを消費者に還元出来るようにすべき。

規制についても新たな革新的技術を阻害するようなものは排除することが大切。